

製品名: SIRT3 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab17918**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	45kDa

抗原情報

遺伝子名	SIRT3
別名	SIRT3; SIR2L3; NAD-dependent protein deacetylase sirtuin-3; mitochondrial; hSIRT3; Regulatory protein SIR2 homolog 3; SIR2-like protein 3
遺伝子 ID	23410.0
SwissProt ID	Q9NTG7
免疫原	抗血清はヒト SIRT3 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 350-399

背景

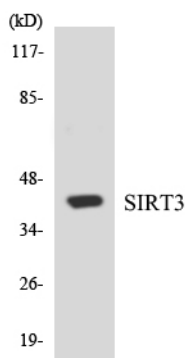
この遺伝子は、酵母 Sir2 タンパク質の相同遺伝子であるサーチュインファミリータンパク質をコードしています。サーチュインファ

ミリーのメンバーはサーチュインコアドメインを特徴とし、4つのクラスに分類されています。ヒトサーチュインの機能はまだ解明されていませんが、酵母サーチュインタンパク質はエピジェネティックな遺伝子サイレンシングを制御し、rDNAの組換えを抑制することが知られています。研究によると、ヒトサーチュインはモノADPリボシルトランスフェラーゼ活性を持つ細胞内調節タンパク質として機能する可能性が示唆されています。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、サーチュインファミリーのクラスIに含まれます。この遺伝子には、異なるタンパク質をコードする2つの選択的スプライシング転写バリエーションが報告されています。[RefSeq提供、2008年7月],触媒活性: NAD(+) + アセチルタンパク質 = ニコチンアミド + O-アセチルADPリボース + タンパク質。補因子: サブユニットあたり1個の亜鉛イオンに結合する。機能: NAD依存性脱アセチル化酵素。in vitroではヒストンを脱アセチル化する能力がある程度あるが、in vivoではその能力は低い。PTM: ミトコンドリアプロセシングペプチダーゼ (MPP) によって処理され、28 kDaの生成物を生成する。この処理は酵素活性に必須であると考えられる。類似性: サーチュインファミリーに属する。類似性: サーチュイン型脱アセチル化酵素ドメインを1つ含む。組織特異性: 広く発現している。

研究分野

タンパク質アセチル化

画像データ



SIRT3抗体を使用したHepG2細胞の溶解物のウエスタンブロット分析。